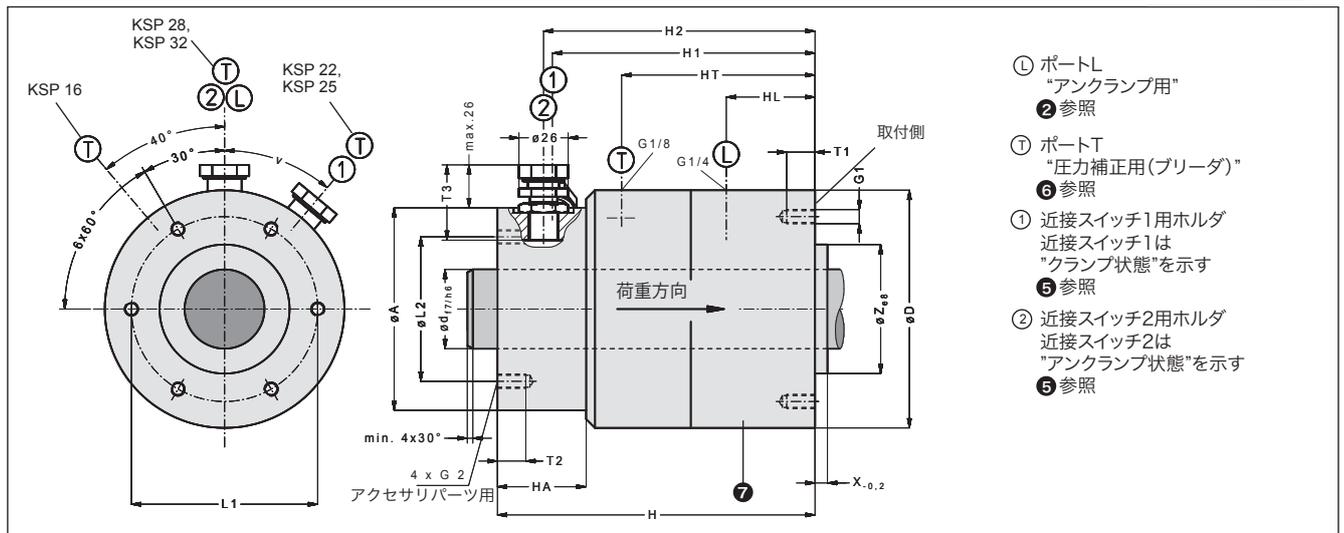


テクニカルデータシート TI-B11

セーフティブレーキ KSPシリーズ (DGUV認証品)
プレッシャーバージョン



セーフティブレーキの概要に関しては”テクニカルインフォメーション TI-B10”をご覧ください。
本製品の取り付けなどに関する情報は”オペレーティングマニュアル BA-B10”をご覧ください。



- ① ポートL
“アークランプ用”
- ② 参照
- ③ ポートT
“圧力補正用(プリーダ)”
- ④ 参照
- ⑤ 近接スイッチ1用ホルダ
近接スイッチ1は
“クランプ状態”を示す
- ⑥ 参照
- ⑦ 近接スイッチ2用ホルダ
近接スイッチ2は
“アークランプ状態”を示す
- ⑧ 参照

図1: セーフティブレーキKSP概要図 (CADファイルは, www.sitema .comよりダウンロードできます。)

Type	ID. no.	d	M	F6	H	D	Z	X	A	HA	w	L1	G1	T1	L2	G2	T2	T3	V	HL	HT	H1	H2	Wt.
	(order no.)	mm	kN	kN	mm	mm	mm	mm	mm	mm		mm		mm	mm		mm	mm	cm ³	mm	mm	mm	mm	kg
KSP 16	KSP 016 01	16	2.5	2.5	114	96	35	5	78	36	50°	55	M6	15	65	M6	10	34	10	17	91	91	88	2.5
KSP 22	KSP 022 01	22	5	3.5	137	120	40	6	104	37	40°	60	M6	15	80	M6	10	45	15	25	87	115	120	5
KSP 22	KSP 022 02	22	10	3.5	137	120	40	6	104	37	40°	60	M6	15	80	M6	10	45	15	25	87	115	120	5
KSP 25	KSP 025 01	25	15	6.5	142	140	45	6	114	37	40°	70	M8	20	90	M6	10	45	30	24	77	120.5	125.5	7
KSP 28	KSP 028 02	28	20	11	173	184	50	6	118	40	30°	80	M8	20	90	M6	10	45	40	43	104	148	153	13
KSP 32	KSP 032 01	32	30	15	204	216	55	6	123	44	30°	130	M10	20	105	M6	10	45	95	41	110	178	183	23

表記された数値は、予告なく変更する場合があります。

- ① Mはセーフティブレーキの許容負荷を表します。取付けられる軸の表面がドライ、もしくは油圧作動油が付着している場合、保持力(制動力)は2xMの値を下回る事はなく、また3.5xMの値を超えることはありません。
- ② アークランプ状態を維持するために必要な圧力は3.5barです。スプリングベースを導入した場合、アークランプするために必要な圧力は4.5barになります(テクニカルデータシートTI-B20参照)。許容作動圧力は、8barです。
- ③ セーフティブレーキには、荷重負荷下ではアークランプされないというアドバンテージがあります。通常のケースでは、リリース圧力が掛かれ、同時に荷重負荷がリフトアップされる状況、すなわち荷重負荷に対する動作が行われ、安全が確保されている場合のみアークランプする事が出来ます。この安全上のアドバンテージを保つには、動作中に掛かる負荷を最小値にしなければなりません。この最小値は供給する作動圧によって変化します。作動圧が6 barの場合、最小値はF6の値になります。アプリケーションの荷重負荷がF6(6 bar)未満の場合は、荷重負荷をリフトアップせずともリリース圧力を加えるだけでアークランプ出来ます。その他のリリース圧力のレベルについては、SITEMA社までお問い合わせください。

- ④ 空圧作動容積
- ⑤ 近接スイッチホルダは、スタンダードな近接スイッチ(M12x1 検知距離2mm、埋め込み型、出力:NOC)をご使用になれます。表のT3は、近接スイッチ上面から、計測位置までの深さを示します。近接スイッチホルダは、工場出荷時に予め近接スイッチが正しく機能する寸法に調整された状態で取り付けられています。近接スイッチを取り付ける際は、近接スイッチホルダ内部のストッパに当たる位置で固定すれば、そのまま使用することが出来ます。近接スイッチは付属されていませんが、アクセサリとして、本体と一緒にご購入頂くことができます。
- ⑥ クランプ・アークランプ作動時に生じる、ユニット内部のエア圧の増減は、ポートTを通して補正されます。ポートTにはエアフィルタ(金色の六角ボルトのようなもの)が装着されており、ダスト等がポートTから製品内部へ入らない様に保護しています。もしポートT近辺が湿気や侵食性流体などで劣悪環境の場合は、フィルタプラグの代わりに空気環境の良いエリアまで配管して下さい。
- ⑦ ハウジングのアルミ部分にはアルマイト処理が施してあります。